

第4学年図画工作科 年間学習計画

目標

- (1) 進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにします。
- (2) 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにします。
- (3) 身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取るようにします。(全 60 時間)

年間学習計画

学期	題材名	学習内容
前 期	見つけたよためしたよ (オリエンテーション)	・友達と一緒に活動を楽しみながら、作品の表現の工夫などをお互いに交流する。
	絵の具でゆめもよう (絵)	・絵の具でいろいろな表し方を試しながら、様々な模様の紙をつくる方法を考え、貼り絵を楽しむ。
	光とかげから生まれる 形(造形遊び)	・スクリーンに投影すると面白いと思う材料を持ち寄り、友人と協力して、影の組合せ方を試しながら、影の形を楽しむ。
	立ち上がれ！ねん土 (立体)	・のし棒で板状のねん土をつくり立ち上げる活動から、自分の好きな方法でつくりたい形をつくる。
	まぼろしの花(絵)	・誰も見たことのない「まぼろしの花」について考え、球根や種をつくりながら想像したり、「まぼろしの花」という言葉から想像したりして、絵に表現する
	おもしろアイデアボックス(工作)	・段ボールの特徴を生かした自分なりのアイデアボックスを考え、用具や材料の使い方を工夫して、思い思いのアイデアボックスをつくる。
	つつんだアート(造形)	・友達と協力し、包み方を工夫して透明なシートで場所やものを包む。
	ゆめのまちへようこそ (立体)	・みんなで協力して、段ボールの組合せ方を試しながら、大きな建物をつくり、夢の街にする。
	わすれられないあの時 (絵)	・自分の心に残ったことを、その時の気持ちが伝わるように、イメージや表現を広げて絵に表す。
	トロトロ カチコチ・ ワールド(立体)	・液体粘土を使って、材料の組合せ方や布の様子などから、自分の想像した世界をつくる。

後	ギョギョクリエイター (工作)	・木でできた身近なものを思い浮かべ、板や木切れなどを切った形を基に、生活に使えるものをつくる。
	光のさしこむ絵 (絵)	・いろいろな材料に光を通し、材料の組合せを考えて色を選んだり、形を考えるなど工夫して表す。
	すみですみか (造形)	・校庭のすみなどつくる場所を決めて、その場所に合ったすみかをつくる。
	幸せを運ぶカード (工作)	・飛び出すようにするものの形を考え、使う仕組みを選び、色画用紙などでカードをつくる。
期	森のげいじゅつ家 (立体)	・材料の特徴を生かしながら、のこぎりや金づちなどの扱い方に留意し、材料をつないだり、組み合わせたりする。
	ゴー！ゴー！ドリーム カー (工作)	・どんな車にすると面白いのか考え、スムーズに動くかどうか試しながら仕組みをつくる。
	ほってすって見つけて (絵)	・木版画の特徴を知り、彫刻刀で思いのままに彫ることを楽しむ。
	からだでかんしょう (鑑賞)	・作中の人物のポーズ、あるいは作品の感じから受ける印象を体で表す。

評価について

- 自分の思いで表現したり、鑑賞したりしながら、作りだす喜びを味わおうとする。
(造形への関心・意欲・態度)
 - 感じたことや見たこと、材料や場所などを基に表したいことを思い付いたり、形や色、用途などを考えたりしている。(発想や構想の能力)
 - 手や体全体の感覚を働かせながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫している。(創造的な技能)
 - 身近にある作品などの形や色などから、表現の感じの違いをとらえたり、よさや面白さを感じとったりしている。(鑑賞の能力)
- ※ 取り組みの様子(活動・発言・関わりなど)や感想カード、作品(思いや意図・形や色の工夫・材料の生かし方など)などにより評価し、指導に生かします。
- 今までの学習経験をもとに、楽しいお話の絵にすることを知る。
 - 自分でお話をつくりながら、紙にあけた穴などから絵に表したい場面を見つける。
 - 場面の様子がよく表れるように、絵を貼ったり、画用紙を開くようにしたりして、お話が楽しく広がるように工夫をする。